

# 社内木鶏クラブ

## あなたの会社でも始めてみませんか

『致知』を活用しながら学びの場を共有し、組織の活性化や人間の成長を目指している会社が全国で増えています。「社員がともに『致知』を学ぶことで、社内がまとまり会社が成長してきた」と多くの経営者が語っています。このような「社内木鶏クラブ」に熱心に取り組んでいる会社を、シリーズでご紹介していきます。

●社長の思い——社内木鶏クラブを始めたきっかけ  
「仕事は人格を反映する。人格を磨くことは人間形成の幅を広げる」という基本的な考え方のもと、ものの見方・考え方を学ぶ場を設けようとして始めました。

「何のために働くのか」という心の軸を築くために



毎日興業 株式会社

業種 ビルメンテナンス業  
代表者 代表取締役社長 田部井 功  
資本金 8,000万円  
社員数 180名  
住所 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-292-1 松栄第三ビル1F  
TEL: 048-642-1238 FAX: 048-642-5216  
ホームページ <http://www.mainichikogyo.co.jp/>

●開催状況  
●各人自宅に届く『致知』を通読して感想や意見をまとめ、勉強会の際に発表し合います。具体的には男子の部と女子の部に分け、人数の多い男子の部は、チームリーダー約二十名が参加する「木鶏リーダー会」と他の社員が参加する「チーム木鶏」の二段階構成にしています。

「木鶏リーダー会」では、五人程度で話し合った内容をまとめ、班ごとに発表し、社長が講評を行います。後日、各リーダーが中心となって「チーム木鶏」を開催し、リーダーが進行・講評を行います。女子の部は二チームに分け、リーダーとサブリーダーが進行役となり、各自の発表後に常務が講評を行います。

●毎月一回。男子の部は終業後（午後六時から八時）、主婦の多い女子の部は就業時間中（二時から五時）に実施。  
●参加者—全社員  
●社員の感想

●『致知』の中の言葉だけでなく、参加者の言葉や話に感動できる感性が身に付いてきました。（三十三歳・男性）  
●『致知』には、様々な立場の方の姿勢が載っているの、上司の思いが理解できるようになりました。（四十一歳・女性）

●サービス業という私たちの仕事の源泉である「人間の質」の向上を目指していこうと思えます。（三十二歳・男性）  
●「仕事」で「致知」で読んだことと点と線になり、理解できる瞬間があります。（二十六歳・女性）  
●はじめは戸惑いましたが、



次第に皆の抵抗もなくなり、全員確実に成長していると感じています。（三十二歳・男性）  
●日常的な会話の中で、『致知』の記事内容が話題になるのは、すごくいいなと思います。（四十八歳・女性）  
●気の重くなる時には、『致知』で心に残った言葉を唱え、頑張ることができるようになりました。（四十八歳・女性）  
●『致知』の勉強を始めるまで、自分を知るといふ考えを持つたことがありませんでした。

（三十三歳・男性）  
●人の意見を取り入れたり、世の中の動きもキャッチしながら、バランス感覚の優れた人間を目指したいと思います。（三十一歳・男性）

●継続させる秘訣  
●こまめなスケジュール確認  
勉強会開催の予定をパソコン上で全員が閲覧できる状態にし、さらに参加者に情報を送付しています。

●参加者の声を反映したスケジュール調整  
忙しい仕事の中、なるべく参加できるように、常に開催日や開催時間を実態に合わせて変更しています。

●目標達成の確認  
一年ごとに「自己品質向上ステージ確認シート」を作成し、自分の目標を申告して期末にリーダーとともに検証しています。

社内木鶏クラブを始めたいとお考えの方は、致知出版社・普及部までお問い合わせください。弊社ホームページにて動画で社内木鶏クラブの様子をご覧ください。  
☎03-3409-5634 <http://www.chichi.co.jp/shanai-mokkei.html>（「社内木鶏」で検索してください）